

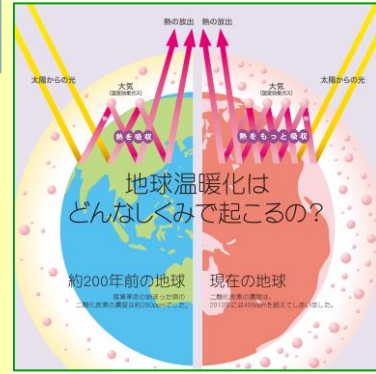
ゼロカーボンシティとめ シンポジウム

～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～

入場
無料

日時 令和7年1月28日（火）13:30～15:45

会場 登米市迫公民館 2階 軽運動場



出典: 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ

ゼロカーボンシティとめシンポジウム について

登米市は、2050年までにカーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しています。その実現に向け、市民や事業者の皆様に関心と理解を深め、二酸化炭素排出量の削減行動につなげていただくため、地球温暖化対策に関するシンポジウムを開催します。

【カーボンニュートラルとは】

排出される温室効果ガス（二酸化炭素等）の量から、森林などに吸収される二酸化炭素の量を差し引き、その合計を実質ゼロにすること。

【基調講演】 地球温暖化の現状と地域に必要な カーボンニュートラルの取組

講師 東北大学名誉教授、尚絅学院大学特任教授
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク理事長
長谷川 公一 氏

【プロフィール】

環境社会学者。宮城県地球温暖化防止活動推進センター・センター長。
1954年山形県生まれ。2009年から、16ヶ国が参加する、気候変動政策国際比較研究（COMPONプロジェクト）日本チームのリーダーを務めている。
主著に『環境社会学入門—持続可能な社会をつくる』（ちくま新書、2021年）ほか、『脱原子力社会へ—電力をグリーン化する』（岩波新書、2011年）は英語版（2015年）、韓国語版（2016年）も刊行されている。

【事例発表①】 家庭や個人の地球温暖化防止に向けた取組方法について

発表者 宮城県地球温暖化防止活動推進員 千葉 智恵 氏

【宮城県地球温暖化防止活動推進員とは】

宮城県知事から委嘱を受け、地球温暖化の現状や対策について正しい知識を広めるとともに、生活の身近なところから地球温暖化防止活動に取り組めるよう、アドバイスや活動のお手伝いを行っています。

【事例発表②】 事業者の地球温暖化防止に向けた取組方法について

発表者 宮城県環境産業コーディネーター 兼平 浩紀 氏 （宮城県環境生活部環境政策課）

【宮城県環境産業コーディネーターとは】

宮城県の事業で、民間企業において製造業等の工程管理や品質管理、環境管理等に携わった経験を有するコーディネーターが、企業訪問を通して環境に関する必要な情報を提供しながら、企業の省エネ・再エネ・産業廃棄物の3Rに関する取組を支援しています。

○申込方法 電話・FAX・電子メールにて、登米市 市民生活部 環境課 までお申込みください。

※FAX・電子メールの場合は、氏名（団体名）・連絡先・参加人数 をお知らせください。

申込期限： 令和7年1月24日（金）まで

申込み
問い合わせ

登米市市民生活部環境課

TEL : 0220-58-5553
FAX : 0220-58-3345

E-mail : kankyo@city.tome.miyagi.jp（記入された個人情報は、当イベントのみ使用します。）

この事業はみやぎ環境税を活用しています